



トラックは家族。
その国の人々にとって、
整備士は医師に近い。

「あれ、ここは日本か?」と目を疑うことがある。
ミャンマー最大の都市、ヤンゴン。大通りから路地裏まで
いたる所で、日本での姿そのままに走るトラックを、よく目にする。
日本で30~40万キロ走行後、この地へやって来たトラックたちだ。
ミャンマーでは、中古トラックは貴重な働き手。
整備の差が、この先の寿命を大きく左右していく。
数か月に1度開かれる「サービスクリニック」では、
「どこか不調はないか」「まだまだ活躍できますように」
と、日本と現地のメカニックがいっしょになって点検・整備をする。
かつて日本を走ったISUZUのトラック。
まだ若く可能性だらけのこの国で、彼らは家族のように迎えられ、
今ではこの土地の風景にすっかり溶けこんでいる。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

滝川 至(41歳)

秋田いすゞ自動車(株)サービス部 所属。
「サービスクリニック」の整備士として、
2014年、ミャンマーに3度渡航。